

利用スタイルに適合した次期図書館システムの検討

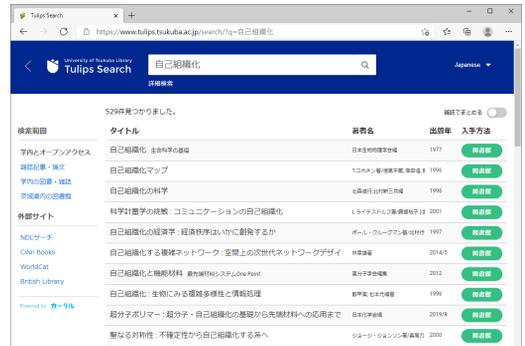
担当室員：高久・宇陀・鈴木

現行図書館システム (2019 - 2024)

コンセプト「知識創造型図書館」の継承 (学びと研究支援の基盤)

〔特徴と狙い〕

- ✓ 情報探索ツール的高速化
- ✓ 学内仮想サーバの利用
- ✓ 業務システムの簡素化



次の更新 (2024-) に向けて

- ✓ コロナ禍
- ✓ 総合選抜入試 + 学類移行振分
- ✓ 学位プログラム化
- ✓ 人員・予算の削減

変化する環境

- ✓ 幅広・網羅的な文献発見 vs 文献入手
- ✓ 分野横断型の情報源 vs 分野特化型の情報源
- ✓ オンライン情報源の多様化と氾濫
- ✓ 文献入手手段の複線化
- ✓ オープンサイエンス

多様化するニーズと課題

議論・フォーラム

今年度は、図書館総合展（オンライン開催）においてカーリル主催フォーラム「大学図書館の検索インターフェースを考える座談会」（11月4日開催）にて、大学図書館向けの検索UI改善のための議論に参加した。

絶え間ない効果検証と改善を目指す